

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
開発・慣習と行動経済学	岡部 正義	木	18:00~19:30	5人

※後期（9月～2月）の授業期間で、授業は15回の予定です。

(2) 場所

埼玉大学経済学部 さいたま市桜区下大久保255

事務担当窓口：経済学部係【TEL：048-858-3286、Mail：eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp】



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目9,800円（振込手数料別途）
- (2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年8月31日(日)

(2) 申込先・方法

下記の URL もしくは QR コードから申込フォームへアクセスの上、お申込みください。

ご不明点や質問等ございましたら、前ページに記載の事務担当窓口までお問合せください。

<https://forms.office.com/r/w7ZhWQvMvE>



(3) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否は申込者全員にお知らせします。)

(4) その他

お申込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則としてお返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

オンラインで受講いただく必要が生じた場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用し授業を受けていただく形となります。そのため、パソコンやタブレット等、インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合は、受講ができなくなる場合がございます。この点につきましてもご確認いただいた上でお申込みください。

4 授業科目の概要及び担当教員

<p>開発・慣習と 行動経済学 (岡部 正義)</p>	<p>開発経済学は、かつては工業化論に代表されるように「市場」的アプローチに基づいて開発途上国経済を分析してきた。その意味で、制度・規範・慣行といった「非市場」的現象は、現地社会にとって重要な変数であるにもかかわらず、以前は経済学で正面から取り上げられるよりも社会学や人類学など隣接社会科学諸学に委ねられてきたと言ってよいだろう。しかし、今日では、ミクロ経済学における不完全競争市場理論やゲーム理論の進展とともに、近年その状況は様変わりし、非市場的なメカニズムが開発途上国の経済発展にとって重要な役割を担っているという認識が開発経済学においても急速に高まっている。</p> <p>そこで、本科目は一定水準以上の専門性を持つ科目と位置づけ、このような開発経済学の近年の進展をふまえつつ開発途上国において観察される様々な行動規範や地域共同体に由来する制度を「慣習」として捉え、開発過程において慣習が果たす役割を経済学的に論じた諸研究を取り上げる。特に、経済学における行動経済学的分析の近年の高まりを受け、開発・慣習を数理的・行動経済学的に探究した諸文献（アジアの農村を中心とする）を指定し、主に受講生が参加型形式で個人またはグループ報告・発表する輪読を通じて、学生間のディスカッションを深め、所記の分析的思考を養う。</p>
-------------------------------------	--